令和6年5月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和6年5月17日（金）午後2時
(2) 閉 会 令和6年5月17日（金）午後4時30分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の公開・非公開の決定について
第 4 第1号議案 三木市文化会館条例及び三木ホースランドパーク条例の一部を改正する条例の制定に係る教育委員会の意見について
第 5 協議事項3 吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について
第 6 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
第 7 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
第 8 報告事項 各課（室）の所管事項について
第 9 その他
第10 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北 由 美
委 員	石 井 ひろ美
委 員	中 嶋 直 裕
委 員	梶 正 義
委 員	稲 見 秀 行

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教育総務部長 森田 眞規

教育振興部長	鍋島健一
教育総務課長	田中栄一
教育施設課長	荒田知宏
生涯学習課長	河端康
図書館長	伊藤真紀
文化・スポーツ課長	手島三知子
学校教育課長	山口正明
教育センター所長	計倉康和
小中一貫教育推進室長	武内克朗
教育・保育課長	仲谷淳
教育総務課課長補佐	本岡忠明
教育総務課係長	三觜牧恵

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、令和6年5月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、中嶋委員及び梶委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和6年4月定例会（19日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の公開・非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、第1号議案「三木市文化会館条例及び三木ホースランドパーク条例の一部を改正する条例の制定

に係る教育委員会の意見について」は6月市議会に提案を予定している案件であり、公にすることにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあること、また、協議事項3「吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について」は意思形成過程にあるもので、公にすることにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて同意された。

日程第6 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○河端生涯学習課長が次のように説明した。

三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、三木市教育委員会被顕彰者を決定したので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第4号の規定により報告する。

令和5年度の三木市連合PTAの会長1人及び副会長2人に対し、感謝状を贈呈する。

日程第7 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○手島文化・スポーツ課長が次のように説明した。

三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、三木市教育委員会被顕彰者を決定したので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第4号の規定により報告する。

堀光美術館での企画展開催を記念し、岡野靖彦氏から自作の作品5点、25万円相当の寄附を受けた。5月に感謝状の贈呈を予定している。

日程第8 報告事項 各課（室）の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○荒田教育施設課長が次のように報告した。

まず学校施設整備工事等の事業予定を説明する。三樹小学校、緑が丘東小学校及び自由が丘東小学校については、体育館の照明のLED改修工事を行う。平田小学校、三木小学校、志染小学校、口吉川小学校、豊地小学校、志染保育所及び別所認定こども園について

は、防犯対策施設整備工事として校門をオートロック化する。広野小学校については、外壁及び屋上の改修工事を行う。緑が丘中学校については、和式トイレを洋式化する。平田小学校、豊地小学校及び自由が丘中学校については、プール水槽の防水改修工事を実施する。工期について、主に夏休みを予定しており、プール水槽にあつては11月、志染保育所及び別所認定こども園にあつては9月から2月までの間に着手する。

続いて、学校園・所からの施設整備要求数について説明する。令和6年度の施設整備要求数は、資料の数字と異なるが、小学校140か所、中学校49か所、特別支援学校6か所、就学前施設11か所の計206か所である。

主な要求内容は、校舎及び体育館のトイレの洋式化並びにプールの改修である。プールについては、令和5年度に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類となり、本格的にプール授業が開始したことに伴い、要求数が多くなっている。

学校園・所から要求された内容を現地確認の上で精査し、児童生徒の安全安心な学校生活を確保するため、児童生徒に危険が生じたり、教育活動に支障が出たりするなどの優先すべき内容から環境整備を行う。

(石井委員) 防犯対策施設整備工事について、令和6年度は5校予定されているが、いつ全小・中学校の校門がオートロックになるのか教えていただきたい。

(荒田教育施設課長) 国の補助事業で、補助率が3分の1から2分の1に引き上げられていることや、安全安心を最優先することから、令和7年度に残りの全ての学校に整備する。

(石井委員) 令和6年度に整備する5校がなぜ優先されたのか、教えていただきたい。

(荒田教育施設課長) 校門の破損が深刻な学校や、校門がアコーディオン式でスライド式に変更する学校を優先している。

(中嶋委員) 令和6年度の施設整備要求数は、全て新規の要求であるの

か。令和5年度からの継続要求が含まれている場合は、令和5年度に対応した要求数を教えていただきたい。

(荒田教育施設課長) 令和6年度の要求数には、令和5年度に要求されたが実施しなかったものを含んでいる。令和5年度については、要求数計195か所のうち28か所を整備し、令和6年度については既に整備したものを含め39か所を整備する。なお、施設整備要求数は、学校園・所から要望のあったもの全てを記載しているが、中にはコンセントの修理など、本来は学校予算で対応すべきものも含まれた数である。

(2) 生涯学習課報告事項

○河端生涯学習課長が次のように報告した。

みどりシニアセミナーを5月15日に緑が丘町公民館で開催し、参加者は40人であった。内容は、落語家で関西国際大学の卒業生である桂あおば氏による落語「笑って健康 長生き」であった。

三木市高齢者大学第1回運営委員会を5月24日にまなびの郷みずほで開催する。

三木市連合PTA理事総会を5月27日に大会議室で開催する。

(3) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

こどもの読書週間イベント「アニメ映画上映会」を4月28日に中央図書館で開催し、参加者は37人であった。上映した「ざんねんないきもの事典」の原作本は、普段から子どもたちに人気があり、上映会終了後、多くの関連図書を貸し出した。

手話でみんなのおはなし会を5月5日に中央図書館で開催し、参加者は16人であった。小さな子どもや聴覚に障害のあるかたも一緒におはなし会を楽しんだ。

蔵書点検を5月14日から6月12日まで、中央図書館、自由が丘公民館図書コーナー、吉川図書館及び青山図書館で順次実施する。

青山図書館開館13周年事業あおとフェスを6月2日、6月8日、6月22日から29日まで開催する。

父の日にちなんだおっちゃんの絵本読み聞かせ会を6月9日に吉川図書館で開催する。

乳児健診時に実施しているブックスタート事業において、4月25日に個人情報の漏えい事案が発生したため、内容を報告する。

ブックスタート事業は、乳児健診終了後にボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせた絵本の中から希望する絵本2冊、絵本リスト及び絵本バッグをプレゼントする事業である。

個人情報の漏えいは、乳児健診受診者1人に、希望する絵本等を絵本バッグに入れて渡す際に、誤って乳児健診対象者一覧表のコピーを一緒に渡してしまったため発生した。

当該乳児健診受診者から、帰宅後速やかに連絡があったことにより短時間で回収を行ったため、漏えいの拡大はなかった。

乳児健診対象者一覧表に記載のあったかたがたには4月30日付けでお詫びと報告の文書を送付し、市民には記者発表により周知しており、現時点では、乳児健診受診者及び市民からの問合せ等はない。

情報漏えいの原因は、図書館職員の個人情報の取扱いに対する意識の甘さにあったと考えている。ブックスタート事業では、乳児健診対象者一覧表は使用せず、事業終了後に必要な情報のみ健康増進課から提供を受け、絵本の渡し漏れがないかチェックするよう運用を改めた。また、今回の事例は、どの職員にも起こりうることであり、個人情報の取扱いについて全図書館職員に再度指導を徹底する。

御心配と御迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

(中嶋委員) 個人情報の取扱いについて全図書館職員に再度指導を徹底するとのことであるが、図書館だけではなく、どこでも起こりうる可能性のある案件である。教育委員会全体に対しても指導を徹底すべきではないか。

(大北教育長) 今回の件を重く受け止め、同様の事案が二度と起こらないよう、教育委員会はもとより、市全体で既に情報を共有し、指導したところである。改めてお詫び申し上げます。

(梶委員) 読み聞かせの主催や協力をしている人は図書館にボランティア登録をしているのかということと、「MEN'S絵本プロジェクト「いぶし銀」」の年齢層及び居住地を教えてください。

(伊藤図書館長)図書館ボランティアとして登録している。また、「MEN'S 絵本プロジェクト“いぶし銀”」は、全員が三木市民で、年代は40代から70代までの4人である。

(4) 文化・スポーツ課報告事項

○手島文化・スポーツ課長が次のように報告した。

ふれあいスポーツデーを5月3日に開催し、参加者は401人であった。

企画展「三木市美術協会 洋画部会展」を4月28日から5月12日まで堀光美術館で開催し、来館者は772人であった。

三木市の花「さつき」展覧会を6月1日及び2日に山田錦の館で開催する。三木市盆栽協会には三木支部と吉川支部があり、従来は三木と吉川の2会場で開催していたが、三木支部が令和6年3月末で解散したため、吉川会場のみで開催する。

特別企画展 三木市制施行70周年記念事業「写俳と書俳 伊丹三樹彦展 ～一句一人生～」を5月25日から6月23日まで堀光美術館で開催する。

みっきい子午線フェスタ2024関連事業を5月25日から6月23日まで堀光美術館で開催する。

(5) 学校教育課報告事項

○山口学校教育課長が次のように報告した。

第2回定例校園長会を5月2日に開催した。

生徒指導関係については、4月は落ち着いた学校生活がみられたことを報告したとともに、5月の連休以降の生徒指導の具体的な取組事例について伝えた。4月の緊張が緩み、少しずつ自己主張が始める時期であるため、人間関係等のトラブルが起こった場合には、そのトラブルを、好ましい人間関係を育てる機会と捉え、子どもたちが自ら解決し、改善が図られるよう支援していくことが大切であることを再度周知した。

各学校園が不審者情報を得た際の対応及び各学校へ情報提供する際の留意点については、警察から「情報を正確に伝え、早急に対応することは再発防止につながるため、まず通報してほしい。」との要望があったことを周知した。

第1回同和教育伝承講座を5月9日に教育センターで開催し、新任教員を含む27人の教員が参加した。元別所中学校校長であった春川政信氏を招へいし、人権を大切にした授業づくり、学級づくり、子どものやる気を育てる具体的なスキルをテーマに講演いただいた。

修学旅行を5月28日から順次5中学校で実施する。行き先は、東京方面又は沖縄である。

体育的行事を5月18日、5月25日及び6月1日に実施する。暑さを避けるため、体育的行事を春に実施する学校が多くなっている。

学力育成プロジェクト会議を5月21日に開催し、令和6年度の事業改善の取組のポイント等について協議する。

第3回定例校園長会を6月4日に大会議室で開催する。

(石井委員) コロナ禍前は、学校訪問や視察等で授業を見る機会が多々あった。我々も議論を重ねる上で、実際に授業を見て、子どもたちの表情、授業の空気感又はタブレット導入後の授業の深化等を学んだり研究したりすることは重要である。以前のように授業を見る機会を設定していただけないか。

(山口学校教育課長) 授業や令和5年度の各校の研究の取組及び授業の様子などをまとめた動画を視聴していただく機会を設定する。

(梶委員) 校内及び校外の不審者情報の現状を教えてください。

(山口学校教育課長) 校内の不審者対応については、校門のオートロック化も含め、3段階に分けてマニュアルに盛り込むように令和5年度に文部科学省から通知があった。それに伴い、各学校においてマニュアルを見直し、不審者対応をどうするか確認するとともに、実際の教職員の動きを三木警察署と連携し訓練している。校外の不審者については、人の目の垣根隊又はPTAで見守り続けながら、不審者情報が入った時は、まず警察に通報し、すぐ一着での情報発信や教職員が下校時に見守りするなどの対応を進めるよう学校に確認している。

(大北教育長) 小学校に配置している学校安全指導員も、学校内だけで

はなく、子どもたちの下校時に徒歩又は車で安全を見守っている。

(6) 教育センター報告事項

○計倉教育センター所長が次のように報告した。

教育相談は、年度当初であり、教員によるタブレットの使用方法や操作方法に関する電話相談が非常に多かった。

I C T利活用研修を5月16日に教育センターで実施し、参加者は28人であった。対象者は令和6年度新規採用者、他市町からの転入者及び希望者で、情報セキュリティについて学校が多くの個人情報扱うことや情報漏えいの原因の多くはヒューマンエラーであることを再認識した。

青少年センターの事業について説明する。定例のネット見守り隊からの報告を4月24日に受けたが、特に気になる事案はなかった。

(稲見委員) 授業でI C Tを活用する上で、操作方法が分からないなどのトラブルがあった時に、どのように解決するのか教えていただきたい。

(計倉教育センター所長) 教育センターのI C T教育指導員2人が相談を受け、解決方法を当該教員に伝えている。

(石井委員) 教員がI C Tを活用して、授業改善を含め新しいことに挑む中で、その方向性が正しいかどうかを客観視できるような取組はあるのか教えていただきたい。

(計倉教育センター所長) 例えば指導案などの教員の困りごとに対しては、教育委員会の指導主事が一緒に考えるほか、当該授業を参観し、今後の課題を授業終了後に共有するなどしている。

(石井委員) 子どもも教員も、新しいことに挑戦していかなければならない状態が何年も続いている。残念ながら学力が向上しているとは言いがたい中、授業改善の進め方や方向性がこれでよいのか悩んでいる教員もいるだろうし、悩んでいない教員もいるかもしれない。

どちらの教員であっても、一緒に情報共有ができるような組織的なプラットフォームがあるのかについて教えていただきたい。

(山口学校教育課長) 授業改善の取組は、研究推進委員会での協議を基に、まずは学校内で子どもたちの実態に即してどのような授業を進めるかについて計画を立て、その計画に基づいて行う。

小学校においては、低・中・高学年のグループで互いに授業に入り、効果を検討しながら研究授業を進めていく。教育委員会事務局は、研究推進委員会の年間計画に基づき、各校の研修推進担当が参加する学力向上対策委員会で情報共有を行い、必要な支援を行うほか、学校の悩みごとなどを校長や神戸大学の教授が参画する学力向上プロジェクト会議に報告し、専門的知見から助言を得てフィードバックしながら進めている。

中学校においては、基本的には小学校の取組と同じであるものの、教科ごとの取組が必要であるため、校長研修会の教科研修部会と連携しながら、必要に応じて指導主事が教科研修会に参加し、教科ごとの授業改善を進めている。

(稲見委員) ICTを使用した学習指導・ICTトラブルについて、教員からの電話の欄が238件とあるが、4月だけでこれだけの相談があったのか。人事異動の影響かと推測するが、件数が多い理由を教えてください。

(計倉教育センター所長) 人事異動の他、年度更新された新しいタブレットの使い方について、問合せが多くあった。

(大北教育長) 新採用や他市町から異動してきた教員からの相談状況を説明願う。

(計倉教育センター所長) ICT利活用研修に同席したが、新採用者は若年であるため、ICTに対する戸惑いは全くなく、すぐに実践できるという認識である。

(7) 小中一貫教育推進室報告事項

○武内小中一貫教育推進室長が次のように報告した。

第1回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教職員部会(全体会)を4月24日に、第2回の同部会を5月15日に開

催した。吉川小学校及び吉川中学校の代表教員により構成する組織であり、吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会と同様のテーマに対し、意見を求めているところである。

第3回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を5月9日に吉川町公民館で開催した。年度替わりにより新たに5人の委員を迎え、19人となった。内容は、亀岡市で小中一貫校の設置に向けた基本構想案の策定時から初代校長となるまで尽力された亀岡市教育委員会の指導主事を招へいし講演会を開催した。その後、前回のブレインストーミングにより多くの意見が出た「児童生徒像に関するテーマ」「吉川で大切にしたい教育内容及び施設設備の在り方」並びに「今後検討すべき学校用地」及び「用地選定に係る基準案」について、集約した意見を委員全員で共有するとともに、事務局案と合わせた学校設置に求められる条件を整理し、共有した。

今後は、教職員部会及び地域協議会で出された意見を参考に、吉川地域に設置する学校の在り方及び骨子を教育委員会事務局がまとめる。

地域協議会委員の能勢ささゆり学園への先進校視察を5月31日に実施する。

実践推進校教員7人による先進校視察を5月14日に高砂市立高砂小学校で実施し、小中合同の研究授業の具体的な進め方について学んだ。今後、実践推進校において小中合同の授業研究を実施する予定である。

第1回自由が丘中学校学校運営協議会を5月24日に、第1回別所小・中学校学校運営協議会を6月3日に開催する。

(8) 教育・保育課報告事項

○仲谷教育・保育課長が次のように報告した。

1年間の運営を見据えてアフタースクール支援員、校長及び教頭並びに事務局で意見交換を行うアフタースクールの学校連絡会を4月末から直営施設及び委託事業所8か所で順次開催した。今後残りの5か所で開催する。

三木市保育協会主催の民間認定こども園の就職フェアを5月12日に神戸国際会館で開催し、参加者は4人であった。旧ツイッター等のさまざまな媒体で告知したが参加者が少なかったため、今後

ついて保育協会と協議する。

三木市保育協会総会を5月25日に教育センターで開催する。

民間認定こども園の就職面談会を6月1日にサンライフ三木で開催する。令和5年度に三木市とハローワークを管轄する厚生労働省が雇用対策を目的に協定を締結しており、人材確保の一環として開催するものである。令和5年度末にハローワーク西神で第1回目を開催したところ3人が参加し、2人の就職につながったこともあり、今回は三木市で開催する。

日程第10 その他 なし

日程第11 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催について諮り、令和6年6月21日午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

日程第4 第1号議案 三木市文化会館条例及び三木ホースランドパーク条例の一部を改正する条例の制定に係る教育委員会の意見について

日程第5 協議事項3 吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について

第1号議案及び協議事項3は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により非公開で審議したため、同規則第31条の規定により内容については記載しない。

教育長が、第1号議案について採決を行い、原案のとおり可決された。

閉 会

教育長が、令和6年5月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。

【令和6年5月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者